福島厚生連　鹿島厚生病院

地域医療連携室だより

創 刊
第１４号
令和８年7月

日頃より当院の地域医療連携室業務にご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。
地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活がおくれますよう、地域病院としての役割を果たして参りたいと思います。今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第9回 相双ホームケアネットワークin鹿島 開催　令和7年12月10日（水）

テーマ　嚥下調整食 学会分類勉強会
～嚥下調整食 学会分類2021の応用と地域での活用～

講 師　花井 様　　株式会社フードケア

令和7年12月10日、「第9回 相双ホームケアネットワークin鹿島」が開催されました。今回は、株式会社フードケアの花井氏を講師にお迎えし、「嚥下調整食 学会分類勉強会～嚥下調整食 学会分類2021の応用と地域での活用～」をテーマに開催されました。嚥下機能が低下した方が安全に食事を続けられるよう、嚥下調整食に関する正しい知識と考え方を学ぶことを目的としています。
学会分類に基づいた食形態の理解を深め、多職種および地域全体で共通認識を持つことで、誤嚥や事故の防止につなげ、現場で実践できる食支援の質の向上を目指す内容となりました。
参加者からは、「業務だけでなく家族にも生かせる内容だった」「施設間の情報連携の重要性を再認識した」といった声が寄せられ、学びの多い勉強となりました。

在 宅 診 療 科　　ご 紹 介

～顔の見える確かな連携で、患者さんとご家族を支える訪問診療～

当科は、通院が難しくなった患者さんが住み慣れた環境で自分らしく暮らせるよう、訪問診療を希望される方とご契約の上、定期的な訪問診療を行っています。
私たちが特に大切にしているのは、訪問診療を開始する前の「対話」です。できる限り事前に患者さんやご家族と直接お会いしてお話を伺っています。自宅療養は自分らしい生活を送れる一方、ご家族の協力も欠かせません。急変時の対応など、不安な点を十分に相談・解消した上で訪問診療を開始します。
地域の医療・介護専門職の皆様と密に連携し、臨時往診を含めた年間訪問数は500回を超えました。また、ご本人とご家族の意思を最優先に尊重し、穏やかな最期を迎えるための末期療養サポートやお看取りにも力をいれております。
これからもケアスタッフの皆様と一丸となり、地域に根ざした在宅医療を届けてまいります。在宅移行のご相談やご紹介は、当院の地域医療連携室までお問い合わせください。

❖ ❖ 令和7年度 退院支援実績 ❖ ❖

相双医療圏退院調整ルールに基づいた退院支援を実施しております。
今年度も保健・医療・福祉・介護関係機関と連携を図り「調整もれ0」を目指し退院支援を徹底致します。

鹿島厚生病院　令和7年度　退院支援実績（地域包括ケア病棟退院者より）

	R7. 4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8. 1	2	3	計
退院者数	25	26	38	31	33	27	26	25	40	30	33	29	363
退院支援者数	13	15	21	20	11	14	10	15	28	20	19	19	205
転院支援者数	0	2	1	1	1	0	1	2	3	3	2	1	17
退院調整もれ数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

地域医療連携室だより
患者様のご紹介・ご相談・お問い合わせは、地域医療連携室にご連絡をお願い致します。
〒979-2442 福島県南相馬市鹿島区横手字川原2番地
TEL：0244-46-5125（病院代表）　0244-26-3861（地域医療連携室）
FAX：0244-46-3948（地域医療連携室）　E-mail：kkhp-renkei@snow.ocn.ne.jp
［発行・編集］令和8年 7月発行　JA福島厚生連 鹿島厚生病院 地域医療連携室